

久喜市議会  
平成27年9月定例会  
市長提出議案質疑通告

平成27年9月11日（金）

## 質疑通告者一覧

### 【議案第63号 平成26年度久喜市一般会計歳入歳出決算認定について】

通告第2号	田中 勝	議員	.....	1
通告第3号	猪股 和雄	議員	.....	1
通告第5号	春山 千明	議員	.....	3
通告第7号	貴志 信智	議員	.....	4
通告第9号	渡辺 昌代	議員	.....	4
通告第11号	川辺 美信	議員	.....	5
通告第12号	杉野 修	議員	.....	5
通告第13号	園部 茂雄	議員	.....	5

### 【議案第64号 平成26年度久喜市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について】

通告第1号	岡崎 克巳	議員	.....	6
通告第7号	貴志 信智	議員	.....	6

### 【議案第67号 平成26年度久喜市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について】

通告第11号	川辺 美信	議員	.....	7
--------	-------	----	-------	---

### 【議案第72号 平成26年度久喜市水道事業会計決算認定について】

通告第11号	川辺 美信	議員	.....	8
--------	-------	----	-------	---

### 【議案第73号 平成27年度久喜市一般会計補正予算（第3号）について】

通告第3号	猪股 和雄	議員	.....	9
通告第4号	丹野 郁夫	議員	.....	9
通告第5号	春山 千明	議員	.....	9
通告第6号	齊藤 広子	議員	.....	10

### 【議案第74号 平成27年度久喜市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について】

通告第1号	岡崎 克巳	議員	.....	11
通告第10号	石田 利春	議員	.....	11

### 【議案第84号 久喜市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例】

通告第4号	丹野 郁夫	議員	.....	12
-------	-------	----	-------	----

### 【議案第85号 久喜市営釣場条例を廃止する条例】

通告第1号	岡崎 克巳	議員	.....	13
通告第2号	田中 勝	議員	.....	13
通告第3号	猪股 和雄	議員	.....	14
通告第8号	成田ルミ子	議員	.....	14
通告第9号	渡辺 昌代	議員	.....	14
通告第11号	川辺 美信	議員	.....	15

### 【議案第86号 工事請負契約の締結について】

通告第13号	園部 茂雄	議員	.....	16
--------	-------	----	-------	----

## ○ 通告第2号 田中 勝 議員

(1) 206ページ 3款 民生費 1項 社会福祉費 7目 高齢者福祉費

事業番号2 敬老事業(10,856,247円)

事業目的は、市民の皆さんが高齢者の福祉について、関心と理解を深め、高齢者が自ら生活の向上に努める意欲を高めるよう祝い金を送る。として、77才と88才の者に1人5千円、99歳以上の者に1万円が支給された。支給対象者は、2,067人で、その内、77才 1,524人(74%) 88才 462人(22%) 99才以上が81人(4%)である。

前年と比較して107人(5.2%)増になる。

この事業の成果をどのように認識しているのか伺う。

(2) 290ページ 成果表244ページ、農業経営安定推進事業のうち、農業団体育成事業として「先進技術の導入及び各種会議の開催」とされ、久喜市梨組合外11団体とある。具体的には、どのような団体があるのか。

また、このような活動に対して、より積極的に支援するべきと考えるが、如何お考えか。

(3) 446ページ 10款 教育費 6項 保健体育費 2目 社会体育費

事業番号6(仮称)久喜マラソン大会準備事業(678,240円)

成果表400ページでは次のように記されている。

(目的)(仮称)久喜マラソン大会の開催に向けた調査研究を行います。

(手段)(仮称)久喜マラソン大会実施に係る調査・課題抽出業務を委託しました。

(成果)(仮称)久喜マラソン大会の実施に必要な事項及び課題等を把握することが出来ました。

以上を踏まえて伺う。成果に関する市の所見を伺う。

## ○ 通告第3号 猪股 和雄 議員

(1) 久喜市の財政調整基金は24年度末積立金現在高45億3900万円から、25年度末には53億7900万円に増額となり、26年度末には54億8600万円と増額となった。

昨年3月時点の中期財政計画では26年度末40億円、27年度末38億円であったが、今年3月の財政計画では現実に合わせて数値を変更して26年度末54億円、27年度末40億円としたが、この数値はまったく信用できない。

ア 一般会計当初予算ですでに、中期財政計画の数値とは大きく違ってきている(特に、

地方交付税・国庫支出金が大幅増)。歳出は予算よりも大きく減額するのが常である。

さらに、一般会計補正予算で財調基金繰入金の数値を操作して8億6000万円の取り崩しをすることになっているが、27年度末には実際には50億円を下らないか、26年度末の残高よりも増えると推測される。見通しと見解を伺う。

それとも、(仮称)本多静六記念 市民の森・緑の公園整備基金やごみ処理施設整備基金に積み増して(積み替えて)、財政調整基金の額面だけは減らすことも可能であるが、そのような操作をするか。

イ 26年度末の財政調整基金残高、市民1人あたりの積立額(約36500円)、および対標準財政規模の比率(約18%)のそれぞれについて、県内40市中の順位はどうなっているか。

ウ こうした状況が毎年続いてくると、久喜市の「中期財政計画」は数値だけを現状追認で合わせていっているに過ぎない。「計画」とは評価できないことになるが、見解を伺う。

「財政が厳しい」という市の言い分も、市民から信用されなくなる日も近いと言わざるを得ないが、見解を伺う。

エ 「財政計画」によると、27年度末40億円、28年度末24億円と急減していくことになっているが、現実に沿った見通しを示されたい。

すでに27年度地方交付税、国庫支出金の大幅増額で「計画」とは大きく乖離しているが、これらを見込んだ上で、財調基金はどうか。

逆にこれらの増額を見込んだ上での「財政計画」を立てるべきでないか。

(2) 職員の時間外勤務は全部署の年間平均で1人1か月に12時間だが、部署によって大きな偏りがある。一昨年度よりも改善されたようには見受けられるが、いまだに人事課、消防防災課、市民税課、などでは月平均30時間以上、社会福祉課、障がい者福祉課、生涯学習課、庶務課などで月平均20時間以上の超勤が常態化している。

ア 現状認識を問う。

イ 業務量に見合った職員配置を、どのように改善してきたか。

ウ 部署によっては、一時的・季節的でなく、年間を通して時間外勤務が多い。業務量と職員配置にまだ問題があるのではないか。説明されたい。

(3) 障害者雇用を積極的に進めるべきである。

25年度から26年度に実数が1名増となっただけで、改善が進んでいないが、認識と方針を問う。

(4) 久喜市の行政水準の評価をどう受け止めるか、市長の見解を伺う。

市議会4区議長会研修で加須市の行政水準評価が紹介された。(加須市HPにも掲載)日経新聞社の「全国市区の経営革新度調査」によると、

総合ランキング	久喜市	全国 104 位	県内 10 位	加須市	全国 28 位	県内 2 位
①透明度					全国 57 位	県内 5 位
②効率化・活性化度					全国 184 位	県内 11 位
③市民参加度		88 位	県内 10 位		全国 19 位	県内 1 位
④利便度		37 位	県内 4 位		全国 48 位	県内 7 位

東洋経済新報社による「住みやすい街ランキング」でも、加須市は、首都圏 139 市区中、出産・子育てしやすい街 20 位 県内 2 位、高齢者が住みやすい街 27 位 県内 5 位となっているという。

ア 同時に合併して 5 年、加須市との比較では、久喜市は「利便度」だけは加須市よりは高いが、他はより低位に評価されていることになる。(調査自体は 25 年度であるが、傾向としては変化がないものと考えられる)。この評価をどう見るか。

昨年の施政方針演説で、田中市長は「都市間競争に勝ち抜く」と述べていたが、こうした外部による評価で、久喜市は、同時に合併した加須市に後れを取っているように見える。東部地区では、加須の他に、春日部市、吉川市、越谷市、草加市が久喜市よりも上位にある。

私は「都市間競争」という概念自体に批判的であり、絶対的な市政運営、市民サービスの水準が問題なのであって、順位に一喜一憂すべきではないが、全国(県内)自治体の行政水準を数値化した客観的な評価は、真摯に受け止めなければならないと思うが、見解を伺う。

イ 「経営革新度調査」で、久喜市は“低位”とは言えないが、まだまだ革新の余地があることを認めなければならないが、認識と見解を伺う。

ウ 加須市のホームページには、《すごいぞ「かぞ」！「かぞ」で暮らしたい！》というページがある。「県内トップレベルの行政運営」「加須市では、「真に自立した自治体経営」の実現を目指して」として、市税の納税率、子育てしやすいまち、女性が輝く、日本一のリサイクル、高齢者が安心して住み続けるまちなど、加須の魅力を PR し、最大限に活用している。

人口や財政規模の拡大それ自体を目的とするのではなく、市民サービスや行政の質が問題なのであり、見習うべきことが多いと考えるが、見解を伺う。

## ○ 通告第 5 号 春山 千明 議員

久喜市一般会計及び特別会計等決算審査意見書のうち決算審査資料 13 ページから 16 ページ、歳出決算の主な不用額調において伺う。

(1) 平成 26 年度決算において不用額が 1,000 万円以上の事業で支出済額よりも不用額の方が大きくなってしまった事業がある。要因は見込み違い等だが、現時点での取り組み状況も含め、どのような対応をしてきたのか伺う。

(2) 支出済額 0 円の事業で予算額全てが不用額となった事業の対応と経過について伺う。

## ○ 通告第 7 号 貴志 信智 議員

平成 26 年度一般会計決算において、市税滞納繰越額の内に占める不納欠損の合計額が直近 3 か年で最大となっている。

- (1) 不納欠損額の合計額が過去 3 か年で最大となった要因を伺う。
- (2) 地方税法第 18 条第 1 項による 5 年時効消滅を回避するべく、平成 26 年度中に行った徴収努力を伺う。

## ○ 通告第 9 号 渡辺 昌代 議員

### (1) P, 292 1 農業費、3 農業振興費

ア 新規事業として事業化された、農産物ブランド化推進事業（決算額 442、800 円）青年就農給付金事業（決算額 11,250,000 円）について、平成 26 年度農業振興がどう進んだのか伺う。

(ア) 取り組み、成果、評価について伺う。

(イ) 課題として出されたものは、今後の振興にどう生かすのか。

イ これまで何年も取り組んできた、人・農地問題解決推進事業（決算額 377,000 円）明日の農業担い手育成塾事業（決算額 0 円）について、平成 26 年度農業振興がどう進んだのか伺う。

(ア) 取り組み、成果、評価について伺う。

(イ) 課題として出されたものは、何か。改善は。

### (2) P, 308 1 商工費、2 商工業振興費

平成 26 年度では、企業等誘致事業、1 億 2,781 万 5,600 円、11 社に産業の振興及び雇用機会の創出が図られたとありますが以下伺います。

ア 平成 26 年度、新たに誘致された企業、すでに誘致されている企業に分けて振興の成果を伺う。

イ 同時に、雇用促進助成金、障害者雇用促進助成金、水道利用加入助成金、雨水浸透施設設置助成金に影響があったと思うが成果を伺う。

ウ 平成 24 年 2 月定例会において市長より「この企業誘致条例を策定するにあたり、10 社程度の企業進出を想定した場合には、約 4,000 人を超える雇用と年間約 4 億円を超える固定資産税、都市計画税が見込まれる」として進められて来ました。このことに照らして、平成 26 年度の決算はどうであったか伺う。

## ○ 通告第11号 川辺 美信 議員

### (1) P100 2総務費 1総務管理費 5鉄道輸送力増強促進事業

昨年11月議会の一般質問、今年2月議会の代表質問において、東武鉄道半蔵門線直通急行列車の5時始発の実現にむけて質問してきました。東武鉄道が今後行うであろうダイヤ改正に、久喜市民の要望が時間的な理由で間に合わなかったとなれば意味がありません。早急に要望活動を展開するように求めてきましたが、2014年度において5時始発列車の実現に向けて、どのように取り組んできたのかお伺いします。

## ○ 通告第12号 杉野 修 議員

### (1) 280—281 4款衛生費 環境衛生費 浄化槽管理指導事業

平成26年度中、合併浄化槽からの排水の水質悪化や臭気の発生があり、行政指導した実績を伺う。

### (2) 286—287 6款農林水産業費 農業委員会費

ア 平成26年度における農業委員会の「目標、課題」を伺う。

イ また、達成状況はどうであったのか伺う。

ウ その理由、原因を伺う。

エ 平成26年度中、農業委員会として久喜市、埼玉県あるいは国に対する「建議」はおこなったか、伺う。また、その内容を伺う。

## ○ 通告第13号 園部 茂雄 議員

(1) 4款 衛生費 2項 環境衛生費 1目 環境衛生総務費 7 新エネルギー導入事業について、交付件数149件としているが、不用額1,649,000円計上している。

この事業の成果と不用額について見解を伺う。

○ 通告第1号 岡崎 克巳 議員

- (1) 差引残額が約14億6千万円と多額だが、どうしてこのような額になったのか。分析はしているのか。
- (2) 差引残額が多く残る中、9款繰入金のうち、その他一般会計繰入金が、5億6千万円以上となっている。どのように認識しているのか伺う。

○ 通告第7号 貴志 信智 議員

- 平成26年度国民健康保険特別会計決算において、不納欠損額が昨年比で増加している。
- (1) 不納欠損の合計額が前年度比増加となった要因を伺う。
- (2) 地方税法第18条第1項による5年時効消滅に関して、過去3か年で順調に減少している。この要因を伺う。



議案第67号	平成26年度久喜市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
--------	--------------------------------

○ 通告第11号 川辺 美信 議員

(1) P584 地方公営企業法適用移行事業とありますが、進捗状況をお伺いします。

**○ 通告第11号 川辺 美信 議員**

(1) 久喜市水道事業会計決算審査意見書に、「地方公営企業会計基準の見直しについて」が記述されています。その中では、新会計基準の適用により財務状況の表示が大きく変わったと書かれています。そこで次の項目についてお伺いします。

ア 新会計基準では、補助金などの地方公営企業が外部から受ける資金の会計処理方法や関係する収益の考え方が変更になったとありますが、具体的にはどの点が変わったのかお伺いします。

イ 新会計基準の適用により、財務状況の表示が大きく変わったとありますが、大きく変わった主な表示はどのようなものですかお伺いします。

(2) 決算書P3～4 平成26年度久喜市水道事業損益計算書

6 特別損失(3) その他特別損失(22,704,738円)は、2013年度・2012年度決算には計上されていません。どのような損失金ですかお伺いします。

### ○ 通告第3号 猪股 和雄 議員

(1) p.26 共通番号制度（マイナンバー）の通知カード・個人番号カード交付事業

ア 準備状況はどうか。

イ DV被害者、避難者、入院入所者への周知はどのように行ってきたか。

ウ 今後、税申告や給付申請書の際に、番号記載がされていない場合、受理するか。

エ 通知カードが届かないで本人も気付かない状況もあり得るが、その場合、住民に関する対応を国や都道府県はどう指示し、市としては実施しようとしているのか。

オ 個人番号カードを、企業、学校法人等が一括申請を行いたい場合、職員を積極的に派遣する予定はあるのか。

カ 共通番号制度についての市民への周知は万全と考えているか。また、市民の理解は十分と考えているか。

私は市民の理解が不十分と考えているが、『広報くき』等に記載したから市の責任は果たしたと考えているか。

(2) p.44 東停車場線の土地買収事業の進捗状況、今後の道路整備までの年次計画を示されたい。

### ○ 通告第4号 丹野 郁夫 議員

P42 8款土木費 東鷲宮駅西口停車場線延伸整備事業について。

(1) 進捗状況及び今後のスケジュールを伺う。

(2) 完成後、予想される周辺の交通状況を伺う。

### ○ 通告第5号 春山 千明 議員

(1) 国からの交付金が要望額よりかなり下回ったためマイナス補正になったという事業の影響を伺う。

ア 総務費、道路ストック附属物修繕事業

イ 土木費、道路ストック舗装修繕事業

(2) 土木費、橋りょう長寿命化修繕事業を今行わなければならなくなった理由を伺う。

○ 通告第 6 号 齊藤 広子 議員

- (1) P. 54 13 諸支出金 ごみ処理施設整備基金積立事業  
今後、どのような計画で積み立てていく予定なのか。

議案第74号

平成27年度久喜市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について

○ 通告第1号 岡崎 克巳 議員

（1）平成26年度決算における差引残額が多く残る中、国保特会から一般会計へ約4億6千万円繰出す事は社会保険加入の市民の立場からすると妥当である。経緯と保険給付費支払基金の考え方を伺う。

○ 通告第10号 石田 利春 議員

（1）平成26年度国民健康保険特別会計決算の「繰越金」1,462,728千円を受けて平成27年度国保特別会計の補正予算が組まれた。この財源をこれまでは、保険給付費支払基金の積み増しや保険給付費等に充当して来た。今回「一般会計繰出金」463,467千円が計上された。

国保特別会計から一般会計に繰り出す予算措置は、どのような考え方からこのような予算となったのか。

（2）久喜市の事業で最も重要なことは、久喜市民の命と健康を守ることであるとする。繰越金は、国保税を引き下げるのに充当すべきと考えるがいかがか。

議案第 8 4 号	久喜市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する 条例
-----------	---------------------------------

○ 通告第 4 号 丹野 郁夫 議員

- (1) コンビニエンスストア各種証明書等発行手続きのやり方について伺う。
- (2) 個人番号カード取得後、今後の「市民カード」の取扱いについて伺う。

## ○ 通告第 1 号 岡崎 克巳 議員

- (1) 釣場を廃止する要因として、利用者数、利用者の 65 歳以上の割合、運営状況等に関することをあげている。市営釣場を廃止することとした経緯を伺う。
- (2) 「継続には多額の費用が必要」とのことだが、何にどれくらい必要か。また、年間の維持管理には、いくらかかるのか。
- (3) 廃止したあとの利用者はどうなるのか。また、安全管理はどう行うのか。今後の計画はあるのか。
- (4) 指定管理時の計画をどうみるか。

## ○ 通告第 2 号 田中 勝 議員

議案書 26 ページ

主旨 久喜市営釣場を廃止するに伴い、条例の廃止をすること

- ・久喜市営釣場条例を廃止すること。
- ・平成 28 年 4 月 1 日から施行すること。

以上について、概ね次のようにご説明頂いた。

：開 設 大池は昭和 62 年、西池は平成 8 年で共に老朽化している。

：運営状況 利用者数は、平成 12 年度がピークで年々減っており、平成 26 年度の赤字額は 530 万円。利用者については、65 歳以上が約 7 割（平成 24 年～27 年）

：管理については、指定管理者制度を導入、「樹木の剪定も行っている」とのことだ。

▼廃止するについては、吝<sup>やぶ</sup>かさかではない。だが、気がかりなことがあるので伺う。

- (1) 釣堀が設営されていたことで、公園の活性化や環境保全が維持されて来た。これは紛れもない事実で廃止されることにより、荒廃が懸念される。これをどのようにお考えか。
- (2) 「赤字」とのお話だが、指定管理者制度は「事業額等を定め、協定によって履行するもの」と認識していたが、赤字が出た場合、補<sup>ほてん</sup>填しなければならぬのか。
- (3) 指定業者名と協定額をお示し願う。
- (4) 管理については「樹木の剪定も行っている」とのお話だ。柵内は自然に根付いた実生の樹木が繁茂しており、これが外から見え難くしている。本来ならば、伐採しなければならぬ樹木である。このことについて、如何お考えか。

## ○ 通告第 3 号 猪股 和雄 議員

- (1) へら釣りの根強い愛好者はまだまだ多いと考えているが、認識を伺う。
- (2) 廃止でなく、釣場として維持する方法もあるが、どのように検討してきたか。  
たとえば、大池の棧橋や釣場を囲っている網を撤去した後で更新しないで、岸から釣る方式に変更する。また、入り口の窓口を廃止して入場料を釣り人をまわって徴収する方法にすれば、人件費や施設管理費等の経費をほとんどかけないで、釣場を維持することはできるのではないか。
- (3) 来年3月で市営釣場を廃止して、2つの池に釣り人が立ち入れなくしてしまう考えか。その場合、禁止しても釣り人は入り込むし、以前の西池のようにごみが散乱して荒れていってしまうだろうことは目に見えているのではないか。見解を伺う。
- (4) いきなり、釣場を廃止してしまうのではなくて、できるだけ市の金をかけないで市民の楽しみを場所を維持する方法を検討すべきではないか。
- (5) 廃止の前に、へら釣りの愛好者やファンと協議の場を設けていく姿勢はないか。

## ○ 通告第 8 号 成田 ルミ子 議員

- (1) 廃止された後の釣り場をどうしていくのか。柵を壊してでも釣りに来る人がいると思う。自己責任で自由に釣れるようにオープンな池にしていく計画はありますか。

## ○ 通告第 9 号 渡辺 昌代 議員

- (1) 廃止にいたるまでの経過を伺う。
- (2) 老朽化と赤字が主な理由と説明があったが、老朽化対策、赤字解消はこれまで議会でも多くの議員が指摘してきた。  
対応の不十分さがあったのではないか。赤字についても指定管理の上納金の分と考えるが、認識はどうか。
- (3) 廃止したあとの池はどうなるのか。どのように考えているのか。
- (4) 廃止ではなく、何年かの思考があってもよいのではないか。



## ○ 通告第11号 川辺 美信 議員

(1) 市営釣場廃止の理由として、釣人口の減少、利用者の平均年齢が高齢化したことによる営業収益の悪化、設備の老朽化による維持管理費の増大など多方面に渡っています。

これまで市営釣場の人気が高く、利用者も市内外からたくさん来ていました。しかし、ここ数年は釣果が出にくくなったことから人気が無くなり、合わせて来場者の減少となった中で赤字が増加したことは明らかです。

この間、赤字問題は議題に上がり、その都度、放流魚の増加、網の改修など増収対策が講じられてきました。今回、廃止という結論に至った具体的な経過についてお伺いします。

(2) 市営釣場があることで、清久大池、西池の環境保全が保たれてきたと考えます。市営釣場廃止後の環境保全はどのように取り組んでいく考えですか。

議案第 86 号	工事請負契約の締結について
----------	---------------

○ 通告第 13 号 園部 茂雄 議員

(1) 南栗橋地区の液状化対策は工事完成を平成 28 年 3 月末を完成予定で、7 区画を一斉に工事を始めるが住民生活へ影響をどの様に考え、どの様に対応するのかを伺います。